

留萌地区 教育経営研究会

1 目的 道小・道中と連携を図り，教育界を取り巻く今日的諸課題について，情報・意見交流を行うとともに，研修テーマに基づく学習会を通して，会員の資質向上に努め，学校経営の充実安定を図る。

2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 留萌管内小中学校長会

3 後援 羽幌町教育委員会

4 日時 平成30年 9月26日(水)

5 会場 羽幌町役場

6 参加者 留萌管内小中学校長会員他(30名)

7 日程 9時30分～10時 受付

10時～10時20分 開会式

10時20分～12時 全国・全道情勢説明・質疑

12時～13時 昼食・休憩

13時～15時15分 研修会

・提言，情報提供

・グループ交流

・全体交流

・まとめ

15時15分～15時30分 閉会式

8 開会式

主催者挨拶 留萌管内小中学校長会長 小澤 洋一

来賓挨拶 羽幌町教育委員会教育長 山口 芳徳様

9 全国・全道情勢説明

一般情勢報告

北海道小学校長会 会計 神谷 敦氏(札幌市立篠路西小学校長)

道小・道中の活動について

新学習指導要領について

働き方改革について

教員不足について

国家公務員の定年延長について

コミュニティ・スクールについて，他

留萌地区からの質問・要望事項に対する回答

北海道小学校長会 幹事 森田 智也氏(札幌市立篠路西小学校長)

北海道中学校長会 幹事 田村 和幸氏(南幌町立南幌中学校長)

コミュニティ・スクールについて

広域人事について

免許外指導について

プログラミング教育について

働き方改革について

期限付き教員について

再任用制度について

その他

10 研修会

研修テーマ 「働き方改革について」

(1) 全体研修

提 言 「学校における働き方改革について」

小平町立鬼鹿小学校 小 柳 豊

平成30年3月に道教委による、学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」が策定され、全道的に具体的な取組が求められている。これまでの働き方を見直し、教員が業務の質を高めるとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、自らの専門性や人間性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行い教育の質を高めることがねらいとなっている。

以下、働き方改革が策定された背景や経緯について説明がなされた。背景には、深刻な労働力不足があり、労働力の増加、出生率の上昇、労働生産性の向上を図っていくことが働き方改革の概要であること。また、三つの重要方策として、長時間労働の是正、非正規雇用の待遇改善、高齢者の就労促進がある。学校における働き方改革についての国や道教委の策定経緯や、道教委、市町村教委、学校が取り組むべき具体的な方策、先進的な取組例も紹介された。

情報提供 留萌管内小中学校長会組織部

ア 留萌管内各市町村における働き方改革取組状況

イ 石狩市立花川小学校の取組状況

ウ 留萌市の取組状況

(2) グループ交流

小学校部会

小学校部会では、業務を見直し仕事の効率化を図り、学校教育の質を高められる環境づくりを目指していることを、今一度、職員に周知していく必要があることを確認し、学校経営方針への位置付けや、ICTの有効活用、研究会業務のスリム化、校務支援システムやタイムカード、コミュニティ・スクールの活用などについて交流した。

中学校部会

中学校部会では、時間外勤務の縮減を今年度の重点目標に掲げ、職員の意識改革を図ったことや、部活動、校務支援システムの活用、タイムカード等での勤務管理、職員会議のペーパーレス化、学校閉庁日、地域・保護者とのかわり、「学校でできること」と「行政がやること」を考え行政への働きかけなどについて交流した。

(3) 全体交流

部会ごとの交流内容の発表

研修のまとめ 留萌管内小中学校長会組織部長 永 沼 慧久男

11 開会式

主催者挨拶 留萌管内小中学校長会副会長 外 山 一 正